



7日がかりのパッキング作業に ボランティア、スタッフ 255人が参加

春休みの「あったか元気便」は、277世帯、975人家族に、お米やレトルト食品、お菓子など3.8トンを届けました。また、県社会福祉協議会のご協力で生理用品もあわせて届けることができました。

春休み便では、利用者が急増するなか、3月3日、4日、7日、8日、9日、14日、15日の7日がかりで作業が行われました。パッキング準備を含めた7日間の作業には、島根大学の学生さんや地区の民生児童委員さんをはじめ、ボランティアさん、スタッフのべ255人が参加しました。

15日のいきいきプラザ体育館会場のパッキングボランティアには、丸山島根県知事夫人の丸山裕子さんもボランティアとして参加されました。作業終了後のボランティア全体交流会では、「夫（県知事）にも、いい取り組みだからぜひ参加して来い」といわれたと披露され、参加したボランティアさんを激励されました。

16日のJA津田支店と大輪子どもハウスの2つの手渡し会場では、利用者さん100世帯に、段ボール箱の食品の他に津田の農家から寄せられた新鮮なキャベツや市内の方から寄せられた色とりどりの子ども用、大人用の手作りマスクが手渡されました。



丸山裕子さん



長引くコロナ感染禍のなか LL牛乳で応援

長期化するコロナ感染禍のなか10月に引き続き1月7日にも、「臨時応援便」に取り組みました。臨時応援便では、中国生乳酪農協連合会の協力でLL牛乳（ロングライフ牛乳）1.9トンを276世帯に宅配便で届けました。

また、このほか、LL牛乳とお米を島根大学の学生支援として、さらに、県内の子ども食堂5箇所にお米、外国人留学生にもレトルト食品を「臨時応援便」として届けました。



鈴木良夫頭取

ひろがる「支え合いの輪」 島根銀行、一畑百貨店が寄付金で応援

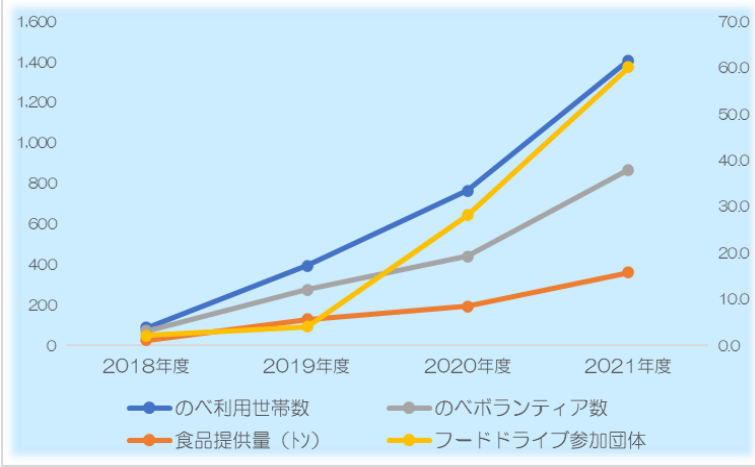


川内孝治代表取締役社長

島根銀行と同本店で出張ロビー販売を行っている34社から、「コロナに負けるな！しまぎん地域応援プロジェクト」の一環として、22万8千円を「あったか元気便」に寄付いただきました。1月21日の贈呈式で同行の鈴木良夫頭取は「地域を支えていく子どもたちが元気に育っていくための支援をこれからも続けていきたい」と述べられました。

また、「あったか元気便」を応援する寄付金付き商品販売を本店の成城石井コーナーなど7つの店舗で行なっている一畑百貨店でも、寄付金贈呈式が行われました。3月10日の贈呈式では、川内孝治代表取締役社長から、4月末まで販売を延長して応援に取り組むことが表明されました。

あったか元気便、利用者も 「支え合いの輪」も2倍ひろがりました



今年度の取り組みで、実施校は6校から11校に増えました。左の図のように利用世帯数ものべ1405世帯、のべ家族数4,940人、食品提供総量も約16トンとなり、いずれも前年度比で約2倍にひろがりました。

そして、「支える輪」も、ボランティアのべ約850人、3千人を超える個人と企業、団体の方から300万円を超える寄付金が寄せられました。また、フードドライブには60を超える団体のご協力がありました。引き続き、温かいご支援をお願いいたします。



いつもありがとうございます。宅配ではなく、手渡しで頂いた者です。お米に野菜、文具まで、こどもと大興奮でした。頂く物にも、関わる人たちにも感謝する機会になり、子どもを連れて行ってよかったと思いました。お会いできてない関係者のみなさん、ありがとうございます。クリスマス年末年始心豊かに過ごせます。

内容がとても充実していて、こんなにももらえるのかと嬉しくなりました。こどもはお菓子が入っていてとても嬉しそうでした。利用するのを悩んでいたお母さんにも、こんな感じだったよと紹介しました。

74歳の野津じいさんへ
ありがとうございます！
とても嬉しかったです！
ばくも何か夢を持ちたいと思いました！



子ども達の好きなもの、ちょうどこれから必要なもの、痒いところに手が届くものばかりで、感謝しかありません。毎日ひとりで戦っている気がしていました。が、頑張っていこうと元気をもらいました。

お米、待ってまーす



来年度は、玄米で11ト～12トのお米が必要となります。玄米を基本にしています。古米でも低温保管されているものはOKです。みなさんの応援をお待ちしています。

前に住んでいた所は、アパートの4階だったこともあり、宅配で元気便を送っていただいていた。引っ越したこともあり、直接取りに伺う形にしたら、両手いっぱいの食材を手渡ししてくれる度、いつも温かいお言葉をかけてくださり、涙が出そうになります。いつも沢山の食材と温かいお言葉、ありがとうございます。これからも頑張ります！

こんなメッセージを
いただきました

沢山の食材に、野菜まで、そして、Xmas用ピザまでもいただきました。お米も沢山子ども達が食べるので、すごく助かりました。帰ってからの子ども達の、箱を開けた瞬間の笑顔は胸に焼きついております。心から感謝します。取りに行った時に、頑張っってね！1人じゃないからね！困った事、心配な事があったら、何でも相談しにきてね！応援してるからね！と温かい声をかけて、強く握手してくださいました。何だか…熱くなり、車の中でしたが、涙が溢れてしまいました。また、仕事に、子育てに頑張ろうと自分自身に誓いました！

ボランティアさんから

食品も大切ですが、今回のように衛生用品やシャンプーなども支援としては必要と感じました。今は声をあげられない方にも情報が届き、応援の輪も大きくなるといいです。



物資だけでなく、想いも届けるこの取り組みに共感し、何度も参加させてもらっています。松江市内には元気便が届いていないまだたくさんの方の方がいらっしゃいます。予算的なこともあるでしょうが、少しでもたくさんの方に届くよう、規模を大きくしてもらえると良いと思います。

本日は初めて参加させて頂きました。このボランティアをきっかけに生活に困っておられる方が何世帯かおられるという現状を知りました。少しでもお役に立ちたいと思い、参加させて頂きました。(島根大学生)

私自身も母一人で育てられました。今思えば周りのあたたかい助けがあったのだなあと、今日の作業をしながら考えました。この食品を心待ちにしているご家庭のことを思うと改めて助け合いの大切さに気付けるような気がします。



フードバンクしまね
あったが元気便
FOODBANK SHIMANE ATAKA GENKIBIN



夢を、貧困につぶさせない。
子供の未来応援国民運動

© Mercis bv